

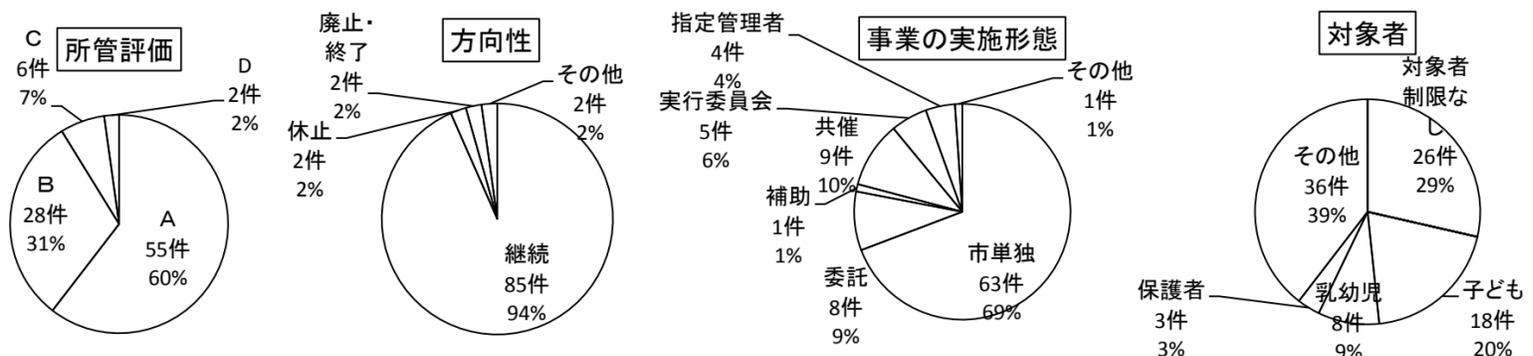
平成27年度八王子市生涯学習関連事業評価シート

基本施策1 子どもの頃から始める学びの基礎づくり

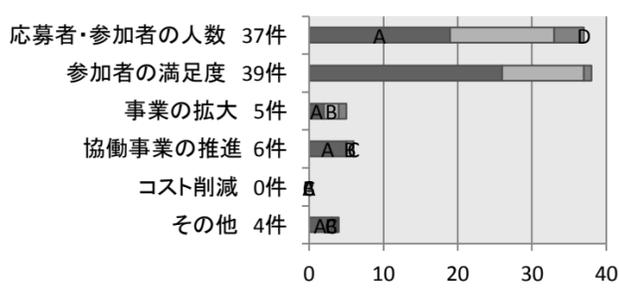
生涯学習関連事業91件

<p>【施策の方向性】 子どもは成長過程のさまざまな機会ですさまざまな人々と関わり、人間関係や社会での経験を積み重ねることで、生きる力を育みます。市民が生涯にわたって学び続け、学んだ成果を社会で活かすことができる生涯学習社会の実現のため、人間形成の基礎となる幼児期や学齢期のうちから、学びの基礎・学ぶ習慣を身に付けることが重要です。 子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩むための基礎づくりとして、家庭での教育を支援し、今まで以上に学校と地域が連携し、多様な学習機会を提供していきます。</p>	<p>【現状と課題】 こども科学館、生涯学習センター、児童館など、さまざまな所管が各種講座や自然体験のほか、スポーツイベントなどを実施し、子ども・親子に学習と体験の機会を提供しています。子ども家庭支援センター、保健福祉センターでは、親子を対象に家庭での教育を支援する講座を実施しています。また、市の施設や市内の子育て応援企業における職場体験・職場見学など、社会を学び、職業観を養う取組を学校と連携して行っています。そして、保護者や地域、学校が連携して「放課後子ども教室」を実施し、放課後の子どもの安全・安心な居場所を確保するとともに、地域の方の協力により学習活動にも取り組んでいます。 今後は、地域や市民団体、NPO法人、学校、企業などと新たな連携・協働を図り、地域とつながる学校づくりを支援し、子どもたちや家庭に対し、一層充実した学習機会を提供していく必要があります。</p>
---	--

施策の展開	平成27年度の主な取り組み
<p>①生きる力を育む子どもの学びと体験の充実 市は、さまざまな分野の講座、自然体験、スポーツイベント、作文や絵画のコンクール、海外交流・都市間交流、食育推進活動などを通じて、子どもたちに多様な学びと体験の機会を提供します。また、環境問題や国際理解など、現代的な課題を扱った学習機会を提供し、子どもたちが持続可能な社会の担い手となるようESDにも取り組みます。事業の実施にあたっては、地域の大学との連携をはじめ、市民の持つ知識・技能を活かし、協働による学習機会の充実をめざします。</p>	<p>子どもの生きる力を育むため、子どもを主体に事業を進め、社会と関わる機会の提供をしました。具体的な取り組みとして【みんなEnjoyわくわくステージ】では中学生・高校生が実行委員となり、企画から準備、当日の運営を担い、イベントが成功したことで子どもたちも達成感を得ることができました。また、【児童館まつり・児童館子どもシテイ】では、子どもたちが遊びを通して社会のルールを体験し協調性などを学びました。【北海道白糠町小学生交流事業】【青少年海外交流事業】では小学生、中学生が親元を離れ、習慣や文化の違う同世代と交流することで協働する大切さを学びました。【星空観望会】ではプラネタリウムを活用しつつ、天体望遠鏡を使って実際に月や惑星を観察するなど、子どもたちに学びと体験の学習機会を提供しました。</p> <p style="text-align: right;">30件</p>
<p>②家庭教育の支援 家庭内のルールづくりや年中行事を通じて家族の絆を深め、家族の会話やコミュニケーションを大切に取る取組を推進するとともに、子どもたちが家庭で基本的な生活習慣・学習習慣を身に付けられるよう、子ども家庭支援センターの子育てひろばや、保健福祉センターをはじめ、市のさまざまな施設で家庭教育に関する講座・講演会を実施します。 また、親子で楽しみながら学ぶことができるイベントや、保護者の学びを支援する学習機会の拡大を図り、子育てサークルなど多様な場を活用し、家庭への効果的な支援を充実させます。さらに、教育・保育施設や学校など、保護者が集うさまざまな機会を通じて家庭教育についての啓発を推進していきます。</p>	<p>各保健福祉センターでは、安心して子育てができるよう妊娠期から参加できる講座などを開催し、参加者の満足度は高い水準となっています。 また、【児童館幼児クラブ】では、乳幼児と保護者が一緒に遊具で遊んだり、季節の行事に参加することで、親同士の交流の場を提供することができました。さらに、小学生、中学生の子どもを持つ保護者のためには、【子育て応援ひろば】【パパママ支援ワークショップ 星とおひさまフィーカキャラバン】などを開催し、保護者同士で子育ての不安や負担について学べる場を提供しました。</p> <p style="text-align: right;">40件</p>
<p>③学校教育活動の支援 学校における子どもへの教育は、教員が実践するだけではなく、保護者や地域のボランティア、企業、大学、市の生涯学習施設などによる教育活動支援が必要です。教育支援人材バンクのボランティアによる学校支援、企業や大学の持つ専門性を活かした教室などを実施するとともに、これらの取組が機能するためのしくみづくりを進めます。</p>	<p>各図書館や、あったかホールなどで中学生の職場体験を受け入れました。実際の職場で働くことにより、働くことの意義や人の関わりを学び、社会性や協調性を養う場となりました。 【東京交響楽団 アウトリーチ事業】では、日頃はなかなか、優れた文化芸術に触れる機会の少ない子どもたちに身近な場所で鑑賞してもらうことで、子どもたちの音楽に対する意識を高めることができました。 また、中央図書館が学校図書館サポートセンターと連携・支援し、学校図書館の充実につなげました。</p> <p style="text-align: right;">11件</p>
<p>④地域の教育力を活かす・高める 保護者や地域、高齢者、NPO法人などの参画により実施する放課後子ども教室、大学や企業と連携した子どものためのイベントや学習機会の提供など、八王子の地域全体で子どもの学習・体験活動を充実させます。放課後子ども教室の実施にあたっては、国の『放課後子ども総合プラン』に基づき、学童保育と一体的・連携した運営により、学校施設などを活用した放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりに取り組みます。 これらの取組の拡大により、地域の教育力がさらに高まり、おとなたちのつながりや世代間交流が生まれ、地域の結びつきが深まることをめざします。</p>	<p>エコひろばでは、NPO法人への委託事業により、環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を開催しました。環境市民会議による自然観察会や勉強会を開催し、市民の力が大いに発揮されました。 【シニアボランティア子ども将棋教室】では技能・知識を持つシニアボランティアを講師として活用し異世代間の交流の場として、地域の活性化に貢献しました。 【南大沢文化会館ダンスワークショップ】では大学のサークルの学生が講師となり、小中学生にダンスの楽しさを伝えました。また、学生達は日頃の練習の成果を発揮することができました。 【放課後子ども教室】では学校や地域の協力を得ながら、子どもの安全安心な居場所を提供しました。未実施校のうち3校が新規開設となり、59校の実施となりました。</p> <p style="text-align: right;">10件</p>



評価指標項目



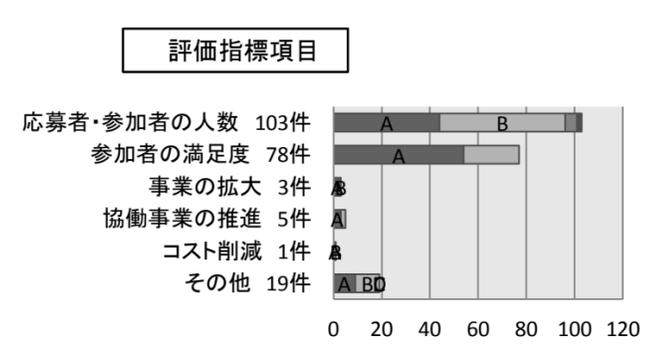
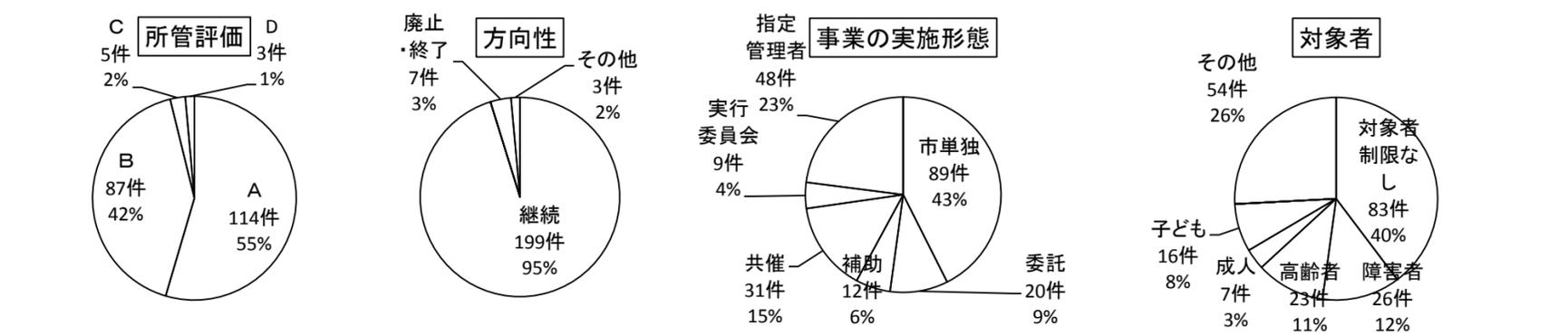
生涯学習審議会評価
 【放課後子ども教室】の評価指標が「事業の拡大」となっているため、開設目標に達しなかったとして所管評価を「C」としているが、実質的には「参加者数の増加」「実施日数の増加」「地域との連携、地域の教育力の向上」などの成果を鑑み、多角的な評価をすべきであるとする。特に子どもたちに「安全で安心な居場所」を提供できたことの評価を重視すべきと思われる。今後も学校教育だけでは得られない「生きる力」を子どもたちに与える場として、更なる充実を期待したい。
 子どもたちが特技の成果を披露する【みんなEnjoyわくわくステージ】は、中高生が裏方となり事業を支えていることに意義がある。満足度90%でありながら評価が「B」となっているが、もっと高評価でもよいと感じられる。
 【シニアボランティア子ども将棋教室】のように、地域のおとなの代表としてシニア世代と、子どもの交流が行われることは、地域にとって効果的であるとする。
 川口図書館で【地域小学校読書支援活動】を実施しているが、図書館を利用する市民の増加につながるよう、他の図書館においても実施することで、より多くの子ども達に図書館を身近に感じることが出来る機会を与えてほしい。

平成27年度八王子市生涯学習関連事業評価シート

基本施策2 誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり

生涯学習関連事業209件

<p>【施策の方向性】 誰もが、いつでも、どこでも生涯にわたり学ぶことができるよう、読書やスポーツ・レクリエーションをはじめ、多様な学習の機会をさまざまな場所で提供します。市民が持っている知識と経験が活かされるよう、市はコーディネーターとしての役割を果たし、学習の内容を充実させていきます。</p>	<p>【現状と課題】 生涯学習の推進のため、さまざまな講座・講習を実施しています。また、多くの大学を有する本市の特色を活かした八王子学園都市大学いちょう塾や、市民団体と協働したイベントの開催、はちおうじ出前講座の実施など、さまざまな形態の学習機会の提供に取り組んでいます。 また『読書のまち八王子推進計画』を策定し、市民が生涯にわたって読書に親しめる環境づくり、近隣市図書館との広域連携、地区図書室の支援、家庭・学校での読書活動の支援などの事業を行い、市民の読書活動を支援しています。 市はこれらの取組を通じて、市民の学びを支援してきましたが、今後は、市民団体やNPO法人、大学、企業などとの連携・協働をさらに進め、市民が持っている力をより一層活かした学習機会の拡充が求められます。</p>
<p>施策の展開</p> <p>①身近で多様な学習機会の提供</p> <p>生涯学習センターにおける各種講座、八王子学園都市大学いちょう塾など、学びたい方のニーズに応え、多様な学習機会を提供します。また、はちおうじ出前講座を充実させ、地域の身近な場所での学習を支援します。学習のテーマについては、環境問題や国際理解など現代的な課題を取り上げ、ESDにも取り組みます。事業の実施にあたっては、地域の大学との連携により、大学が持つ資源の活用を図るとともに、市民の持つ知識・技能を活かした協働による学習機会の充実をめざします。</p>	<p>平成27年度の主な取り組み</p> <p>【市民自由講座】では受講者のニーズに沿った多様な講座を数多く実施し、市民の学習意欲の充足に努めました。 【地球温暖化防止普及啓発イベント】では地球温暖化問題について市民の意識を高めるきっかけづくりに寄与しました。また、【再生可能エネルギーの普及啓発】として北野清掃工場では木質バイオマスの活用を紹介しました。 【八王子学園都市大学いちょう塾】では地域の大学等との連携により、一年を通じて質の高い講座の提供をしました。</p> <p style="text-align: right;">27件</p>
<p>②読書のまち八王子の推進</p> <p>市では、市民の誰もが日常生活の中で手軽に本にふれる環境を整備し、読書に親しみ、読書を通じて豊かな人間性を育めるまちづくりをめざしています。『第3次読書のまち八王子推進計画』に基づいて、ブックスタートやおはなし会など、家庭・地域・学校で読書を楽しめる事業の実施、ボランティア研修など読書活動に関わる人への支援、電子書籍の導入をはじめとするICTの活用に取り組めます。また、高齢者施設への出張図書館、障害者への宅配サービスなど、特別な支援を必要とする人も読書に親しめる環境の充実をめざします。</p>	<p>子どもを対象とした【おはなし会】、高齢者等を対象とした【朗読会】、視力障害者等を対象とした【対面朗読】など、読書に親しむきっかけづくりの場の提供を継続して行うことができました。 一方で【読書感想文・感想画コンクール】は、本を読んだ感想を作文や絵に表すことで、表現することの難しさ、楽しさに触れ、また、感性や表現方法の違いを感じてもらうことができました。 【一日図書館員】や【としょかんたんけんたい】【中学生ボランティア体験】は、図書館の裏側を知ること、図書館を身近に感じることができる事業となっています。</p> <p style="text-align: right;">35件</p>
<p>③八王子の特色を活かした文化芸術の振興</p> <p>市内の文化施設において、音楽や美術作品の鑑賞など優れた芸術作品に市民が触れる機会を提供し、市民が文化に親しみ、主体的な文化活動が行われるよう取り組みます。また、本市が有する豊かな自然、伝統文化、史跡など、八王子独自の自然・歴史資源を活用した学習活動を推進するとともに、『八王子市文化振興計画』と連携し、事業を展開します。</p>	<p>【歴史探訪施設見学会】【文化財見て歩き】では、施設見学やガイドからの説明を受けながら市内の施設を実際にまわり、市民が本市の文化に親しむことができました。 伝統文化、歴史にとどまらず、市内の文化施設においてジャズやクラシックなどの芸術に触れる機会を提供し、来場者の好評を得ています。 【SUN☆KUNラリー】は市内にある3つの美術館が連携した事業であり、芸術を身近に感じる機会となりました。</p> <p style="text-align: right;">37件</p>
<p>④生涯スポーツ・レクリエーションの推進</p> <p>関連計画である『八王子市スポーツ推進計画』に基づき、市民の一人一人が、生涯を通じ健康でいきいきと暮せるように、また、スポーツを通じた地域の活性化をめざします。目標の実現のため、市は地域、市民団体、NPO法人、学校、企業と連携してスポーツ・レクリエーションの機会を提供し、誰もがスポーツに親しめる環境を整備していきます。</p>	<p>【やさしいフィットネス】などの初心者のための教室や、【八王子市民水泳大会】などのレベルの向上を目指す競技会を開催し、市民の一人一人が生涯を通じてスポーツ、レクリエーションに親しむ機会の提供をしました。 スポーツ、レクリエーションを開催するにあたっては、地域や市民団体等の協力を得て、協働体制で実施しています。</p> <p style="text-align: right;">20件</p>
<p>⑤高齢者の生きがいづくり</p> <p>高齢者が地域活動に参加し、生きがいを持って日常生活の中で学習やスポーツなどに親しみ、健康に暮らせるよう、高齢者のニーズに合った運動教室や講座などを実施し、地域でのスポーツ・レクリエーションの場と機会の充実を図ります。</p>	<p>高齢者が気軽に参加し、地域で心身ともに健やかに過ごすことができるような機会を提供しました。講座に対する参加者の満足度は概ね高くなっています。 また、【シニアボランティア 囲碁】、【シニアボランティア 絵手紙】講座を実施し、講座等に参加するのみではなく、高齢者が講座実施の担い手として地域において活躍の場を広げ、高齢者の社会参加促進を図ることができました。</p> <p style="text-align: right;">39件</p>
<p>⑥共同参画・共生社会の実現</p> <p>性別・国籍の違いや、障害の有無にかかわらず、学びや社会参画ができるよう、男女共同参画社会の実現に向けた学習機会の提供、外国人の学びの支援、障害者のための学習機会の提供に取り組めます。</p>	<p>障害の有無に関わらず、参加しやすい各種講座、イベントを開催しました。多くの参加者が継続して参加することができ、外出する機会、他者との交流の機会として有意義でした。 国際理解、男女共同の推進についても、啓発活動・交流の場の提供を進めることができ、参加者から好評を得ています。</p> <p style="text-align: right;">51件</p>



生涯学習審議会評価

夜間の講座を開催するなど、現役世代が仕事や育児をしながら学べるしくみづくりの配慮がなされているが、広大な面積の八王子市の課題として、地域によっては学習機会を得ることが困難な市民もいると思われる。より身近な場所で講座等が受けられるよう一層の推進、工夫が求められる。

【八王子学園都市大学いちょう塾】【市民自由講座】等のさまざまな講座・講義は、八王子市の特色でもあり、強みとなっている。特に、市民自由講座については176万円で8,955人の受講者を得たことは評価に値する。引き続き講座・講義の充実を図るとともに、常に時代の変化にも対応することを期待する。しかし、クリエイトホールの改修工事の影響により、講座数が減少したとの理由で所管評価「C」は厳しい評価と感じる。

【障害者対象事業】について実施地域を広げるよう求める。また、障害者の引きこもり対策の評価指標「参加人数」は妥当だが、「障害者の生活向上」「ボランティアの協力」を評価理由とした事業については総合的な評価が欲しい。

【第3次読書のまち八王子推進計画】に基づくブックスタート、おはなし会等の図書館の取り組みは参加者の満足度が高く、更なる発展を期待する。

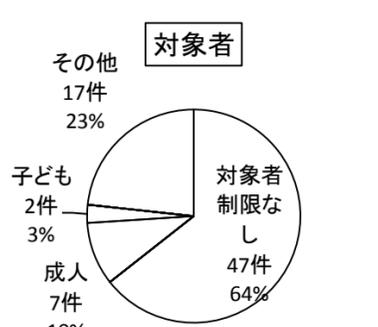
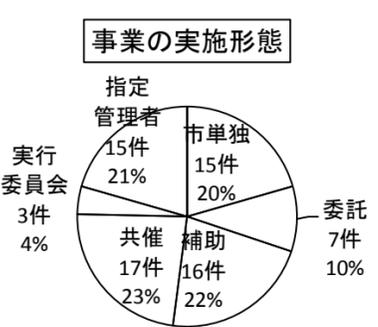
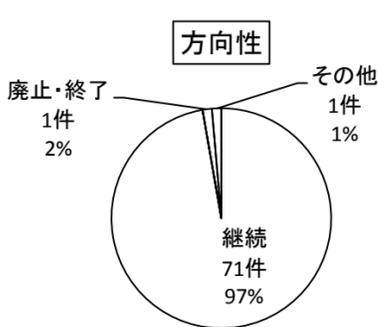
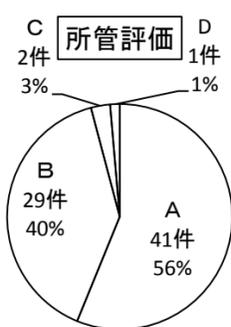
平成27年度八王子市生涯学習関連事業評価シート

基本施策3 学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進

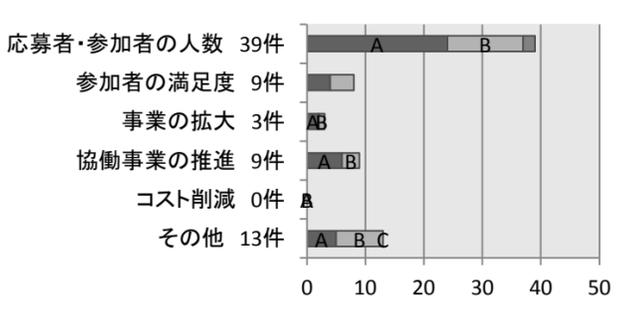
生涯学習関連事業73件

<p>【施策の方向性】 生涯学習を通じて得た知識や経験が、自己の学びにとどまらず、社会や地域での学習活動に活かされることにより、人とひととの交流が生まれ、その交流が新たな学びや生きがいをもたらすという学習成果の循環をめざします。 この循環の実現のため、ボランティアや指導者の育成、そしてイベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援し、市民団体やNPO法人などと連携・協働した、新たな生涯学習のしくみづくりに取り組みます。</p>	<p>【現状と課題】 市民が主体の生涯学習社会を実現するため、「生涯学習コーディネーター入門講座」、「アクティブ市民塾」、「市民活動支援講座」などの人材育成講座のほか、手話・点字・傾聴・図書などの各種ボランティア育成講座を実施しています。また、「生涯学習フェスティバル」、「八王子市民スポーツ・レクリエーション大会」などのほか、さまざまなイベントの開催を通して、市民が日頃の成果を発表し交流する場や機会を設けています。行事の実施にあたっては、市民団体やNPO法人などが共催・協力・実行委員会などの形態で協働しています。 今後は、市民のみさんの知識・経験が家庭・学校・地域で活かされるよう、学んだ人とその力を必要としている人とを結び付け、活動の場や機会をより多く作ることが求められています。</p>
---	---

施策の展開	平成27年度の主な取り組み
<p>①人材の育成と活躍の場の提供</p> <p>市民と地域が主体となり、市民との協働による生涯学習社会の実現のため、市民活動を支援・活性化させる各分野のコーディネーター・指導者の育成、ボランティアの養成を推進します。また、学んだ成果をそれぞれの地域で発揮できるよう、市と協働する市民団体の育成と支援に取り組み、市民団体の持つ力をさらに活かした連携・協働による新たな生涯学習のしくみづくりに取り組みます。</p>	<p>手話、点字、健康サポーターなど、市民が主体となって地域で活躍するためのボランティアの養成講座を実施しました。また、入門講座にとどまらずスキルアップのための講座を実施することで、学んだ成果を地域に還元するきっかけ作りとなりました。また、受講者同士の交流の場の提供ともなっています。 東浅川保健福祉センターと南大沢保健福祉センターで実施していた【初級手話講座】について、新たに大横保健福祉センターでも開始し、市民がより参加しやすい環境を整えました。 【生涯学習コーディネーター養成講座】では、市民の生涯学習活動を支援する人材を養成するため7日間の講座を開催し、13名が修了しました。</p> <p style="text-align: right;">21件</p>
<p>②学びの成果を活かす機会の充実</p> <p>文化活動やスポーツ・レクリエーションなど、日頃のさまざまな学習活動の成果を発表する機会を充実させます。こうした行事が成果発表のみにとどまらず、参加した市民の新たな学習活動のきっかけとなるよう、参加者体験型・交流型の行事など学習機会の充実をめざします。</p>	<p>【南大沢総合センターまつり】や【八王子市民文化祭】【青年ライブステージ】【生涯学習フェスティバル】などでは毎年出展、出演を希望する団体・個人があり、日頃の学びの成果を発表する機会になっています。 また、【おおるり展】【中学校絵画展】では、児童生徒の心の豊かさを育み、創造的な能力の向上を図りました。</p> <p style="text-align: right;">22件</p>
<p>③市民との協働による地域の活性化</p> <p>市民団体、NPO法人、大学、企業、ボランティアなどと連携・協働して啓発イベントや各種のまつりなどの行事を開催します。啓発イベントでは環境、食育、消費生活、国際交流など現代的・地域的な課題に対する市民の関心を喚起し、また「八王子まつり」など大規模な地域行事を通じて、市民交流を活性化させます。</p>	<p>企画、運営、講師など事業・イベントの担い手として市民による活躍の場が広がっています。 【南大沢コミュニティオペラ】では、プロ歌手と、市民合唱団体が共演し、また、衣装・メイク・記録撮影に市内大学や大学生も協働した事業として芸術活動への市民参加の活性化に貢献しました。</p> <p style="text-align: right;">30件</p>



評価指標項目



生涯学習審議会評価

事業の実施形態が多様化されており、市民が主体となって市民がつながる生涯学習が推進されていることが伝わってくる。
サークル等に所属する市民により、個々につながる生涯学習活動は成功していると感じられるが、成果の発表につながるしくみがうまく機能していない。例えば【生涯学習フェスティバル】などは市民への認知度が低いことから市広報の活用のほか、開催時期の再考や、様々なメディアの活用など、旧来の殻を破る発想の転換が必要ではないかと思われる。
市民がつながる生涯学習の推進には、学習ニーズを持った市民と生涯学習をサポートする市民を、コーディネートする仕組みを整備することが求められる。例えば、【生涯学習コーディネーター養成講座】などを受講した市民にその後の道筋を示し、学習した成果を活かす場を提供する取り組みが必要と思われる。
併せて【はちおうじ志民塾】のように退職後地域で活動するきっかけづくりとなるよう、壮年を対象とした人材養成講座の充実を図ってほしい。

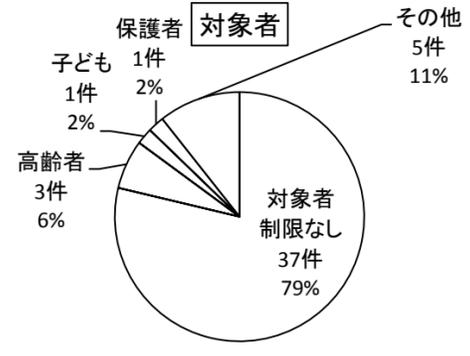
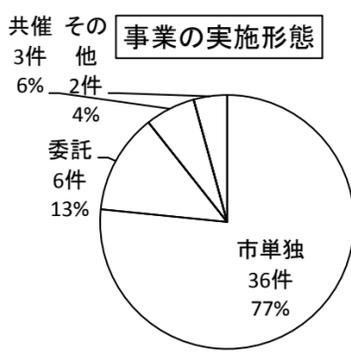
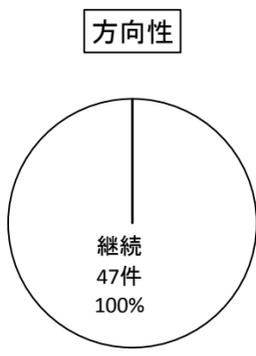
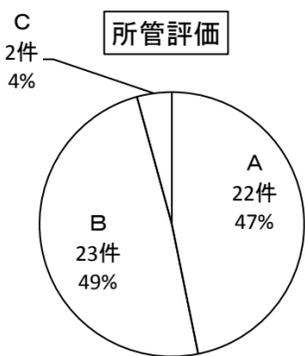
平成27年度八王子市生涯学習関連事業評価シート

基本施策4 生涯学習環境の充実

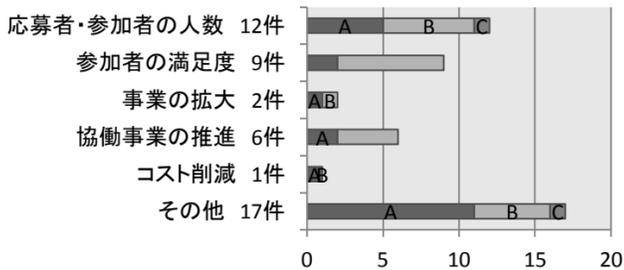
生涯学習関連事業47件

<p>【施策の方向性】 生涯学習活動を始めたい市民、学習をより深めたい市民などに対し、講座、サークル活動、ボランティア参加などの情報を分かりやすく提供するとともに、相談体制を拡充させます。また、生涯学習施設、市民センター、各種スポーツ施設、学校施設など、市の有する施設を積極的に市民に提供するとともに、大学や企業などと連携し、市民の学習の場がさらに広がるよう、生涯学習環境の充実を図ります。</p>	<p>【現状と課題】 広報紙、チラシ、市ホームページなどさまざまな媒体で、市が実施する生涯学習情報を提供しています。広報紙は『広報はちおうじ』、『はちおうじの教育』のほか、図書館『らいぶらりい』、外国人向け情報誌『Ginkgo』などがあり、市や市と協力する団体の学習情報を提供しています。市のホームページではイベント・講座の情報、施設予約、講師・サークル情報を提供し、図書館ホームページでは蔵書検索、本の予約・リクエスト受付を行っています。これらの情報がサイト上で分散しており、利用者に対して分かりやすく集約された情報を提供することが課題となっています。 また、市民の生涯学習・生涯スポーツを推進するため、生涯学習センターや市民センター、各種スポーツ施設を提供しています。また、学校施設についても多くの学校で校庭や体育館の市民団体への開放を行っています。 今後は、児童・生徒などの個人情報保護を含め、安全性を十分に確保したうえで、学校施設の活用など、より市民に身近な施設の有効活用を拡大・充実させていく必要があります。</p>
--	--

施策の展開	平成27年度の主な取り組み
<p>①生涯学習情報の収集と発信</p> <p>イベント・講座の情報、施設予約、講師・サークル情報などを広報紙・インターネットなど複数の媒体で分かりやすく提供し、市民の学習活動をサポートします。また、講座アンケートなどを通じた市民の学習ニーズの把握につとめるとともに、NPO法人、大学、企業などの生涯学習活動の情報を収集し、市民に提供していきます。</p> <p>また、フリーターや引きこもりの状態にある人の就労、ニート対策、社会的・職業的自立の促進のため、市や地域で行われる自立就労を支援する学習機会の情報発信、そして社会人となった後の学び直しや、スキルアップを求める人のためのリカレント教育に関する情報の提供にも取り組みます。</p>	<p>【八王子市生涯学習夢ネット】は講師・指導者として活躍する市民や、市内で生涯学習活動をしているサークル、団体に関する情報を収集し、市民の要望に応じて情報を提供しています。生涯学習を始めたい人、仲間を増やしたい人の相互のマッチングを目指しています。</p> <p>また、紙媒体で持ち込まれた市民団体や大学などの生涯学習関連情報チラシやポスターを一括で掲示し、市民に提供しました。</p> <p>また、各地域住民協議会の活動を周知する【市民センターだより】や市民活動に関する情報発信を行う【SUPPORT802】は、市民との協働によって作成されており生涯学習関連事業についても情報を発信しました。</p> <p>20名の学習支援委員は、各人の生涯学習活動のほか、学習支援委員が一堂に会して【しえんねっと講座】の開催や、出前講座として地域の団体に対して講座を開催するなど、生涯学習の推進に努めました。</p> <p>生涯学習センターでは新たな情報発信手段であるSNSを活用し、生涯学習センターの講座開催情報などの生涯学習に関する情報を市民に提供しました。</p> <p>地域での様々な活動に、誰もが気軽に参加できる環境を整え、市民活動の活性化を図るため、地域活動に係わる団体等が、自ら登録し発信できるウェブサイト【はちコミねっと】を開設しました。</p> <p style="text-align: right;">31件</p>
<p>②相談体制の拡充</p> <p>市が収集した生涯学習情報を活用し、専門相談窓口やイベント会場での相談コーナーを通じて、生涯学習に関心のある市民が気軽に相談できる環境を整えます。講座の受講、サークル結成、活動場所の確保など、さまざまな問い合わせや相談に対し対応できる、専門の相談員などの人材を育成し、適切な案内と助言を行います。</p>	<p>【地域参加等支援デスク】では定年を迎えた市民などに、生きがいを持ちながら地域活動するための総合的な情報提供をしています。</p> <p>本施策の展開以外に分類される事業においても、市民の生涯学習の推進を図るための環境を整えています。</p> <p style="text-align: right;">9件</p>
<p>③施設の有効活用と開放</p> <p>生涯学習センター、図書館、市民センター、各種スポーツ施設、学校施設など、市の有する施設を積極的に市民に提供し、市民の自主的な生涯学習活動を支援します。生涯学習センターの運営においては、市民団体やNPO法人との協働による生涯学習をさらに推進します。また図書館事業においては、『第3次読書のまち八王子推進計画』に基づき、協力市民と連携した市民センター内の地区図書室の充実、地区図書室の図書館分室化、大学図書館の市民開放、近隣自治体との広域連携を進めることなどにより、読書に親しめる環境づくりの充実を図ります。</p>	<p>市立学校の余裕教室を市民の生涯学習活動のために開放しました。身近な場所で団体のメンバーが集える場所の提供を図りました。</p> <p>【学習支援のための託児】では満1歳から未就学児の託児サービスを提供し、保護者の学習支援に努めました。</p> <p>また、市民により地区図書室17館を運営、読み聞かせ等の行事を実施しました。また、市内地区図書室の図書館分室化を推進する中で、由井市民センターみなみ野分館の地区図書室を市内2か所目の分室として開室し、他の地区図書室や地域文庫への蔵書充実などの支援を行いました。さらに、市内等大学図書館を訪問し、八王子市の地域資料を寄贈し、八王子コーナーの設置要請を行い、また、近隣市8市との図書館相互利用を継続するなどにより、市民の身近な場所での読書環境の整備に努めました。</p> <p style="text-align: right;">7件</p>



評価指標項目



生涯学習審議会評価

市民がどれくらい情報を収集しているのか、また、市民に対してどれくらい情報発信しているのか、その浸透具合の指針となる評価を考える必要があると思われる。また、観光アプリ【AR滝山城跡】の配信の様な取り組みは、生涯学習環境の充実の新たな方向性を示したのではないかと。【学習支援委員】のような市民委員は、市民同士の「学びの循環」を創るうえで鍵となる役割を果たしている。しかし、学習支援委員が出前講座の講師を担っていることは市民に広まっていないことから、積極的に周知を図ってほしい。

【八王子市生涯学習夢ネット】の更なる充実・発展を望む。市のホームページのトップページにバナーを貼り【八王子市生涯学習夢ネット】を中心に「いちよう塾」「夢美術館」「郷土資料館」の情報を網羅した、生涯学習部門のホームページの作成を目指してほしい。仲間を募っているサークルと、いろいろな活動に興味があって参加したい市民を結ぶ役割を担う機関が必要と思われる。

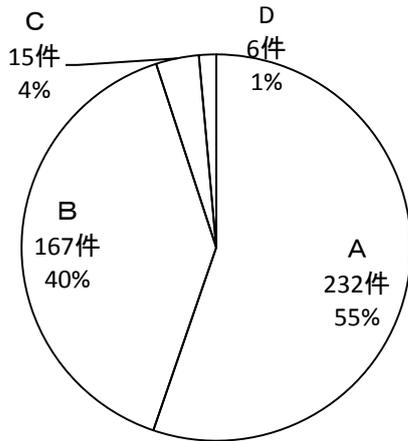
活動場所を求めているサークルが活用することができるよう、小学校の空き教室開放の利用方法等の周知を図るほか、教室開放実施校の拡大も検討されたい。

また、身近な場所での読書環境整備として、市内2か所目の分室が開室したが、市域が広いことから、北部地区など市周辺部での地区図書室の図書館分室化を進めてほしい。

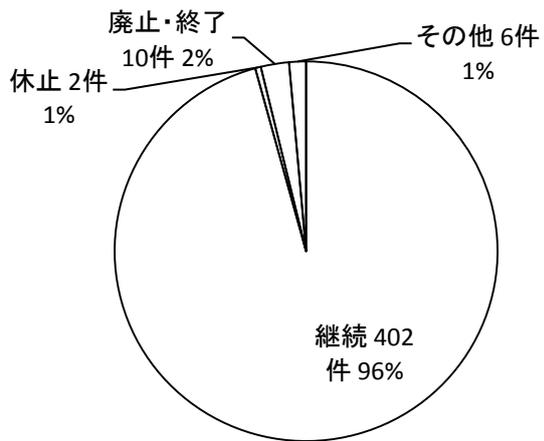
総合

生涯学習関連事業 420件

所管評価

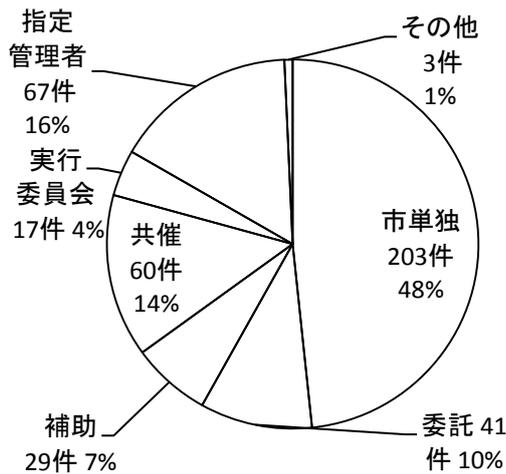


方向性

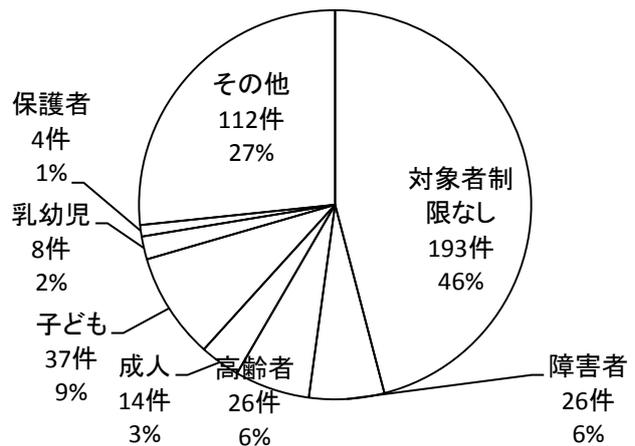


D評価の6件は悪天候等による事業の未実施です。

事業の実施形態



対象者



※対象者「その他」については想定以外の項目が増えてしまったため、(例:「小学生以上」や「幼児と保護者」など)件数が多くなっています。

生涯学習審議会評価

いずれの事業においても、さまざまな観点(指標)での評価により事業を検証することで、継続的な「誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり」につながっていくと思われる。

多くの大学が存在し、また、多くの学生が集う八王子は、学園都市としての人的資源、知的資源、学習環境が豊富であることから、これらの資源を活用することで、生涯学習のモデル都市として活気ある「市民・地域とともに高めあう学びのまち」をめざしてほしい。

個々の事業では一定の成果をあげているが、今後は、事業と事業をつなげる視点が必要なのではないか。たとえば【生涯学習コーディネーター養成講座】と【学習支援委員】事業の連携により、人材の育成と活躍の場の提供の充実を期待したい。

また、市民の学習ニーズを的確に把握することで、生涯学習活動を行う市民に対し、必要となる場や団体につなげるほか、学んだ市民が学校支援に関わることができるような体制づくりを期待したい。

市民が手軽に各種講座等の開催情報を得ることができるよう、情報発信の一元化のほか、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ラインなどのSNSをはじめとする、あらゆる情報発信ツールを活用し、市民の生涯学習の推進に努めてほしい。